

第2 事業活動結果

1 公益目的事業

(1) 公園施設等運営事業

指定管理の主要業務である公園、施設などの管理及び運営については、以下のとおり事業に取り組みました。

ア 公園、施設などの管理及び運営

利用者の安心安全を第一に、32年間蓄積してきたノウハウを生かし、年間を通して点検、除草、樹木の剪定、設備の修繕、ごみ回収などを進めました。

公園に設置された遊具については、専門業者による点検を行い、その結果は八幡市に報告しておりますが、既に事業団で一部修繕、除却を実施いたしました。

また、職員が緊急時に適切、迅速に対応できるよう、体育館ではAED使用講習会、避難誘導訓練及び通報訓練、男山レクリエーションセンターでは消火訓練を実施しました。

イ 緑化の推進

市民体育館ロビーの窓付近にグリーンカーテンを兼ねた朝顔を植えるなど緑化の推進に努めました。

(2) スポーツ振興事業

スポーツによる市民の健康づくりを支援し、継続して活動していただけるよう、以下のとおり事業に取り組みました。

ア 講習会の開催

八幡市では、ウォーキングの日を設けるなど、市民の健康づくりに役立つウォーキングを奨励しております。また、簡単にストレッチなどのできる健康器具を公園に設置しております。当事業団としても、市民にノルディックウォーキングと正しい健康器具の利用方法を学んでいただくため、10月にきんめい近隣公園で24人の参加のもと、ノルディックウォーキング&健康器具使用講習会を開催しました。

イ スポーツを楽しむ日の開催

市民体育館で11月に、皆様に卓球、バドミントン、バレーボールなどを自由に楽しんでいただく「スポーツを楽しむ日」を開催し、八幡市健康推進課などの御協力による体組成の測定会や、地元のお茶生産者の御協力によるお茶のふるまいなどを実施し139名参加していただきました。

ウ シニアスポーツクラブの開催

高齢者を対象に、前年度に引き続き、柔軟な身体づくり、筋力の向上、運動の習慣づけなどに役立つシニアスポーツクラブを開催しました。令和元年度の実施回数は84回（前年度は88回）、参加者数は延べ約1,980人（前年度は2,200人）で、開催回数、参加者ともに前年度よりやや減少しました。

エ 動物ふれあい広場の開催

こども動物園において、小動物とのふれあいや写真撮影会など御家族で楽しんでいただくためのイベントを開催しました。

オ 各種大会への協力

八幡市、八幡市体育協会、当事業団などで構成する実行委員会が主催した市民マラソン大会及び八幡市が主催した障がい者スポーツ大会及び積極的に参加、協力しました。

カ 情報提供、スポーツ相談など

令和元年度のホームページアクセス数は約19万3千件（前年度は約24万2千件）でした。春に当事業団の取組みを広く知っていただく事業団だよりを全戸配布し、その他の期はスポーツ教室、健康運動教室の案内チラシを公共施設等に備え置いて周知に努めました。

また、当事業団が主催しております各教室の内容を紹介するための動画を自前で作製し、市民体育館ロビー及び事業団ホームページにて放映しPRに努めました。

2 収益目的事業

令和元年度の使用料収入は約6,038万円（前年度は約5,948万円）で、前年度に比べて1.5パーセント、約90万円の増になりました。

有料公園の延べ利用者数は約30万4千人（前年度は約31万7千人）で、利用者数は前年度より減少しました。

収益目的事業においても、市民の健康、体力づくりに寄与するため、引き続き次のとおり事業に取り組みました。

(1) スポーツ振興事業

ア スポーツ教室の開催（自主事業）

市民体育館及び男山レクリエーションセンターにおいて、春、夏、秋及び冬の4期に、それぞれ年齢、体力、技術レベルなどに応じた多様なスポーツ教室を開

催いたしました。

令和元年度の全教室開催回数は約2,000回（前年度より減少）、延べ参加者数は約2万3千人（前年度約2万6千人）で、開催回数、参加者ともに前年度より減少しました。

イ トレーニングルームの運営

令和年度のトレーニングルーム利用者数は約6,590人（前年度は約8,130人）で前年度より減少しました。

(2) 施設の貸与

施設については、これまでどおり、八幡市が主催、関与し又は八幡市が委託、補助するなどの公益性の高いスポーツ、健康、学校行事などを優先利用させました。

(3) 自動販売機の設置、スポーツ用具などの貸与

来園者などへの利便を図るため、これまでどおり飲料水などの自動販売機の設置や、スポーツ用具などの貸し出しを行い、令和元年度は併せて366万円（前年度は357万円）の収入を得ました。